



Coca-Cola zero 2007
Suzuka 8 hours

2007 QMMF FIM 世界耐久選手権シリーズ第3戦
“コカ・コーラ ゼロ”鈴鹿8時間耐久ロードレース
第30回記念大会

2007.7/26 THU **29** 決勝 SUN

MEDIA INFORMATION 2007.3.30

三十年の記録と記憶



MOTO MAX 2007 | バイク好きはみんな集まれ!
バイク乗りが楽しむイベント
「MOTO MAX」も同時開催

「8tai.com」で最新情報をアップロードいたします



2007 QMMF Endurance FIM World Championship Series Round.3
The 30th "Coca-Cola Zero" Suzuka 8hours World Endurance Championship Race
MOBILITYLAND CORP. SUZUKA CIRCUIT
7992 Ino-cho Suzuka-shi, Mie-ken, 510-0295 Japan
Tel 81 59 3781111 Fax 81 59 3784568



OFFICIAL SPONSOR



はじめに

三十年——。
それは、人のつくりだした「ドラマ」。
鈴鹿8時間耐久ロードレースの中で生まれた数々の想いが
この30年目のページに新たなドラマとして綴られる。

歴史を育みながら進化し続ける、鈴鹿8時間耐久ロードレース。
今、高鳴る鼓動とともに、30年目の幕がここに開かれる…!

新たな期待を胸に、“コカ・コーラ ゼロ”鈴鹿8耐第30回記念大会が始動!!

1978年の第1回大会から、今年で第30回記念大会を迎える鈴鹿8時間耐久ロードレース。
ワイン・ガードナー選手、グレアム・クロスビー選手などに代表されるように、この鈴鹿8耐から世界グランプリへの
道を切り開いたライダーが数多く誕生しました。そのまた一方で、バレンティーノ・ロッシ選手、ミック・ドゥーハン選手ら
世界グランプリのトップライダー達が、そのプライドをかけて鈴鹿8耐に挑んできました。

大本命ホンダワークスを、プライベートーヨシムラが破り大喝采を浴びた1978年。
無名のライダーだったワイン・ガードナーが、驚異的なタイムでポールポジションを獲得し世界を驚かせた1981年。
台風上陸で大荒れとなったレースを日本人ペアが制した1982年。
WGPを引退したばかりのケニー・ロバーツが平忠彦とのペアで参戦。ファンの大注目を集めながらも優勝を逃した1985年。
わずからラスト5分でヨシムラ高吉克郎が痛恨の転倒を喫し、鈴鹿サーキットが悲鳴に包まれた1987年。
あと一歩で優勝を逃し続けていた平忠彦が、悲願の初優勝を果たした1990年。
アクシデントの火災により史上初の赤旗中断。最後までデッドヒートが繰り広げられた1994年。
コーリン・エドワーズ/芳賀紀行のペアが優勝し、史上最年少ペア優勝記録を更新した1996年。
1982年以来、ファンが待ち望んでいた日本人ペアによる優勝を伊藤真一/宇川徹が達成した1997年。
前年の屈辱を晴らし最強ライダーとなったバレンティーノ・ロッシが、優勝とともにその存在を知らしめた2001年。
ラスト1時間でエンジンが息絶え、北川圭一/藤原克昭が涙を飲み雪辱を誓った2003年。
3年連続でポールポジションを獲得しながらも優勝を逃し続けたTSRが、見事ポールtoウィン飾ったのが記憶に新しい2006年。

考えられる最高の体制を整えて挑んでも、簡単に勝利を掴めないのが鈴鹿8耐最大の見どころであり、
この筋骨きのないドラマと、それに共感する多くのファンの皆様によって、国内最大のモーターサイクルイベントへと
成長してきました。

鈴鹿サーキットで数々の歓喜と栄光のドラマが生まれ、人々は心打たれ、また来年ここで逢おうと誓った30年。
今年もまた、“コカ・コーラ ゼロ”鈴鹿8耐という新たな舞台でドラマが生まれようとしています。

ライブだからこそ記憶に残るレースそのものの魅力。そしてバイクが好きになる楽しさ溢れる体験型イベントの数々。
“コカ・コーラ ゼロ”鈴鹿8耐は、今年も、そして未来も、より多くのファンの皆様に愛されるよう進化し続けます。
メディア各位の心に響いたサウンドを、読者・視聴者の皆様にお伝えいただきますことを、心からお願い申し上げます。

株式会社 モビリティランド 鈴鹿サーキット

[2]



2007 QMMF Endurance FIM World Championship Series Round.3
The 30th "Coca-Cola Zero" Suzuka 8hours World Endurance Championship Race
MOBILITYLAND CORP. SUZUKA CIRCUIT
7992 Ino-cho Suzuka-shi, Mie-ken, 510-0295 Japan
Tel 81 59 3781111 Fax 81 59 3784568





“コカ・コーラ ゼロ”鈴鹿8耐開催概要

- (1) 大会名称 2007 QMMF FIM 世界耐久選手権シリーズ第3戦
 “コカ・コーラ ゼロ”鈴鹿8時間耐久ロードレース 第30回記念大会
 (英文表記) 2007 QMMF Endurance FIM World Championship Series Round 3
 The 30th “Coca-Cola Zero” Suzuka 8hours World Endurance Championship Race
- 併催 2007 鈴鹿・近畿選手権シリーズ第5戦
 鈴鹿4時間耐久ロードレース(ST600)
- (2) 主催 財団法人 日本モーターサイクルスポーツ協会(MFJ)
 株式会社モビリティランド 鈴鹿サーキット
- (3) 特別協力 株式会社テレビ朝日
 名古屋テレビ放送株式会社(メ〜テレ)
- (4) 後援 文部科学省
 三重県・鈴鹿市・鈴鹿商工会議所・鈴鹿市観光協会
- (5) 大会冠協賛 コカ・コーラ ゼロ
- (6) 会場 鈴鹿サーキット 国際レーシングコース(1周/5.821km)
 〒510-0295 三重県鈴鹿市稲生町7992 TEL:059-378-1111(代)
- (7) 開催日程 2007年 7月26日(木)~7月29日(日)

7月 26日(木)	特別スポーツ走行/公式練習
27日(金)	公式予選
28日(土)	決勝出場チーム フリー走行
	スペシャル・ステージ「トップ10トライアル」(公式予選) “コカ・コーラ ゼロ”鈴鹿8耐前夜祭
29日(日)	“コカ・コーラ ゼロ”鈴鹿8時間耐久ロードレース 決勝 11:30スタート/19:30ゴール

●鈴鹿4時間耐久ロードレース スケジュール

7月 26日(木)	特別スポーツ走行
27日(金)	公式予選
28日(土)	鈴鹿4時間耐久ロードレース 決勝
	8:30スタート/12:30ゴール

※スケジュールは変更になる場合があります。

3



2007 QMMF Endurance FIM World Championship Series Round.3
 The 30th "Coca-Cola Zero" Suzuka 8hours World Endurance Championship Race
 MOBILITYLAND CORP. SUZUKA CIRCUIT
 7992 Ino-cho Suzuka-shi, Mie-ken, 510-0295 Japan
 Tel 81 59 3781111 Fax 81 59 3784568





Coca-Cola zero 2007 Suzuka 8 hours

RACE TOPICS

1

毎年、世界の強豪ライダーが名を連ねる "コカ・コーラ ゼロ"鈴鹿8耐 今年も真夏の鈴鹿に衝撃のドラマが誕生する!!

1台のマシンを、2人または3人のライダーが乗り継ぎ、8時間でどれだけ長い距離を走破したかを競うのが"コカ・コーラ ゼロ"鈴鹿8時間耐久ロードレースだ。午前11時30分に、恒例のルマン式スタートによって幕が開き、午後7時30分にチェッカーが振り下ろされる。

1978年に第1回大会が開催された鈴鹿8時間耐久ロードレース。以来、『8耐』の愛称のもと、世界選手権の一戦でありながら、鈴鹿ならではの耐久レースの醍醐味が堪能できるとして、多くのファンの支持を集めてきた。また、グレアム・クロスビーやワイン・ガードナーなど、この8耐で世界へのチケットを手にしたライダーもいれば、ケニー・ロバーツやウェイン・レイニー、エディ・ローソン、バレンティーノ・ロッシなど、世界のトップライダーの多くが、ライダーとしての名声と榮譽をかけて、この8耐制覇に乗り込んできた。

耐久レースでありながら、スプリント並みの速さを維持できなければ勝利は見えてこないことから『スプリント耐久』の異名を持つ8耐。今年の世界耐久選手権シリーズの第3戦として7月26日(木)～29日(日)に開催されるが、記念すべき第30回大会での榮譽を目指し、再び世界の強豪が鈴鹿に集結する!!

2007年世界耐久選手権シリーズ開催日程

- 第1戦 4月21日 ル・マン24時間耐久 (フランス)
- 第2戦 5月 5日 アルバセテ6時間耐久 (スペイン)
- 第3戦 7月29日 "コカ・コーラ ゼロ"鈴鹿8時間耐久 (日本)
- 第4戦 8月11日 オーシャスレーベン24時間耐久 (ドイツ)
- 第5戦 9月15日 ボルドール24時間耐久 (フランス)
- 第6戦 11月10日 ドーハ6時間耐久 (カタール)



毎年ゴール後の花火で会場は感動の渦に包まれる

RACE TOPICS

2

プレビュー 2007年"コカ・コーラ ゼロ"鈴鹿8耐 今年は8耐のみ参加のチームはJSB1000で 一本化!!

日本にJSB1000があるように、スーパーバイク・カテゴリーは各国で独自のレギュレーション変更を加えて開催されている。有名なのは、2006年に清成龍一がチャンピオンを獲得したイギリス・スーパーバイクであり、民辻啓が参戦するアメリカ選手権のAMAだ。

そして現在、各国の交流戦を押し進めることを目的に、世界統一レギュレーション確立の動きが活発化してきた。言い換えれば、スーパーバイクは未来に向けての転換期にあるわけだが、こうした背景を受けて、"コカ・コーラ ゼロ"鈴鹿8耐もレギュレーションの環境調整に着手することになった。

昨2006年は、あくまでも紳士協定であったワークスチームのJSB1000仕様マシンでの参戦だったが、今年は、"コカ・コーラ ゼロ"鈴鹿8耐にのみスポット参戦する場合のマシンは、すべてJSB1000仕様となる。昨年までのXX-Formula、さらにスーパープロダクション、スーパーストックでの参戦は認められなくなった。これにより、今年の"コカ・コーラ ゼロ"鈴鹿8耐に登場するマシンは、世界耐久選手権にレギュラー参戦するチームおよびポイント獲得チームのみに認められるスーパーバイク、スーパープロダクション、スーパーストックに加え、スポット参戦チームのJSB1000と、4カテゴリーによる闘いとなり、ファンにとっては、これまで以上に分かりやすく、見応えのある白熱した接戦が期待できるものとなった。

また、スターティンググリッドの決定方式も2006年のトップ10トライアルを踏襲。計時予選での上位10チームによって、一人ずつタイムアタックを行ない、これによりポールポジションから10番グリッドまでが決定する。さらに、昨年設置された国別対抗戦『エンデュランス・オブ・ネーションズ』も継続が検討されている。継続が決定した場合は 6月9日(土)～10日(日)に鈴鹿サーキットで開催される"Road to 8hours"鈴鹿300km耐久の優勝チームが、日本代表として"コカ・コーラ ゼロ"鈴鹿8耐を闘うことになる。



2006年JSB1000仕様の仮面ライダーカブト(ホンダCBR1000RR)

4



2007 QMMF Endurance FIM World Championship Series Round.3
The 30th "Coca-Cola Zero" Suzuka 8hours World Endurance Championship Race
MOBILITYLAND CORP. SUZUKA CIRCUIT
7992 Ino-cho Suzuka-shi, Mie-ken, 510-0295 Japan
Tel 81 59 3781111 Fax 81 59 3784568



OFFICIAL SPONSOR



Coca-Cola zero 2007 Suzuka 8 hours

RACE TOPICS

3

どうなる? 今年の"コカ・コーラ ゼロ"鈴鹿8耐 暑い夏がさらに過激にアツくなる!! 再び激闘の予感!!

昨年、YAMAHA BLUE RACINGを結成してコーリン・エドワーズと芳賀紀行の96年優勝ペアが復活して、ヤマハ・ファンの声援を一身に浴びたことは記憶に新しい。実はこのチーム、正式にエントリーがあったのは、その締め切り直前で、まさにビッグサプライズとなった。しかし、決勝レースでは、スタートライダーのコーリン・エドワーズが、ライディング中にトラブルに巻き込まれ早々にリタイア。ぜひ今年は、雪辱戦として再び同チームが結成されることを期待したい。

一方で、辻村猛と伊藤真一を擁して初優勝を遂げたF.C.C. TSRは、今年も同一ペアでの参戦を表明。チームを統括する藤井正和監督は「鈴鹿8耐で勝つことが、我々の最大の目標だからね。今年は、もちろん連覇を狙っていきますよ」と、早くもV2宣言が飛び出している。

さて、鈴鹿8耐の第1回大会から主役の座についているヨシムラは、全日本JSB1000に参戦している渡辺篤と酒井大作ペア、モリワキからは山口辰也と森脇尚護ペアの参戦が濃厚だ。そして何よりも注目なのが、今年の全日本JSB1000にHondaワークスのTEAM HRCがフル参戦していることである。手島雄介がそのライダーを務めるが、鈴鹿8耐までは、耐久マシンの実戦開発が同時進行することが予想されており、例年以上に盤石な体制が築かれるはずだ。また、ヤマハのノリックこと阿部典史も、今年も全日本JSB1000を闘っていることから、その延長線上に鈴鹿8耐初参戦が実現しても不思議ではない状況だ。

今年も鈴鹿8耐はMotoGPとは開催日が重なっていないことから、世界のトップライダーの参戦が見込まれている。果たして誰が来日して、誰と、どのようなチームを結成するのか? 最新情報はホームページ等で随時配信されていく予定だ。

RACE TOPICS

4

レビュー 2006年鈴鹿8耐 ベテラン辻村と円熟の伊藤ペアでF.C.C. TSR ZIP-FMが初の総合優勝達成!!

さて、昨2006年の第29回大会では、鈴鹿サーキットの呼び掛けにより、メーカー直轄チーム、すなわちワークスチームとして鈴鹿8耐にのみスポット参戦する場合は、出場マシンはJSB1000で統一するという、いわゆる紳士協定がもたれた。参加クラスが増えるということは、言い換えれば、レース自体がわかりにくくなる危険性を含んでおり、これを打開する一つの方策だった。そして、この提案を各メーカーが快諾。Hondaワークスは初めてJSB1000仕様のCBR1000RRを手掛けることになったが、打倒ワークス、打倒Hondaを掲げる鈴鹿8耐第1回大会、第3回大会の覇者であるヨシムラは、Hondaと同じJSB1000仕様のスズキGSX-R1000でガチンコ勝負を挑んだのである。

また、ヤマハは、MotoGPクラスを闘うコーリン・エドワーズと、スーパーバイク世界選手権で活躍する芳賀紀行を招聘してYAMAHA BLUE RACINGを結成。マシンはもちろんJSB1000仕様のヤマハYZF-R1。エドワーズと芳賀は1996年にペアを組み、史上最年少ペアとして優勝を遂げているが、これ以降ではHondaの独壇場が続いており、ヤマハ・ファンにとっては10年ぶりの覇権奪還に胸を躍らせる最強チームの誕生となったのである。

こうした中、XX-Formula仕様のHonda CBR1000RRで出場するF.C.C. TSRの伊藤真一が、新方式となったスペシャルステージのトップ10トライアルで最速タイムを記録。これで4年連続でのポールポジション獲得となった。これまでは決勝レースで何度も苦汁をなめたTSRであったが、昨年は伊藤・辻村ペアが決勝を快走。プライベートチームながらワークスJSB1000マシンを破る快挙を成し遂げ、伊藤にとっては3勝目、パートナー辻村猛とチームにとっては初優勝を収めたのである。



2006年のコーリン・エドワーズ&芳賀紀行のようなビッグサプライズはあるのか?



2006年優勝の#778F.C.C. TSR ZIP-FMの伊藤真一

[5]



2007 QMMF Endurance FIM World Championship Series Round.3
The 30th "Coca-Cola Zero" Suzuka 8hours World Endurance Championship Race
MOBILITYLAND CORP. SUZUKA CIRCUIT
7992 Ino-cho Suzuka-shi, Mie-ken, 510-0295 Japan
Tel 81 59 3781111 Fax 81 59 3784568





Coca-Cola zero 2007 Suzuka 8 hours

RACE TOPICS

5

8耐のもうひとつのクライマックス 緊迫の「トップ10トライアル」。 土曜日の鈴鹿を見逃すな!

昨年から、予選20位までのチームにより行なわれていた「スペシャル・ステージ」は「トップ10トライアル」に進化した。

上位の決勝グリッドを、ワンラップのみのタイムアタックにより決める「スペシャル・ステージ」が、上位10台による、文字通り選ばれたライダーたちによる「トップ10トライアル」として生まれ変わったのだ。上位10台になったことに、よりタイムの接近したライダーたちの激しいアタックが見られることになる。

「トップ10トライアル」では、計時予選の10位、9位…の順番で、さらに2人のライダーのうち、遅いライダーからアタックを行う。これにより、マークしたタイムが次々と塗り替えられる緊張のタイムアタックが全ライダーの走行が終了するまで続くのだ。

事実、昨年のトップ10トライアルでもサーキットにいるすべての人々の目がその一点に注がれる緊張の中、ライダーの闘志あふれる走り、タイムが更新されるたびにどよめく観衆の姿が見られた。2時間に凝縮されたこのスペシャル・ステージは、文字通りエンターテインメントとして観客を魅了した。

さらに、コース上での走りだけではなく、様々な演出も仕掛けられている。コースインのスタートはピットロードの観客の目の前、ライダーのアタック中は、そのライダーの選曲した音楽がBGMとして流れる。ライダーのセンスがきらりと光る選曲も聴きどころだ。その時点でのトップタイムをマークしたライダーのみが座ることのできる「王様のイス」も設定されており、ライダーのナマの声を聞くこともできる。土曜日の鈴鹿8耐を観なくては8耐は始まらない!

RACE TOPICS

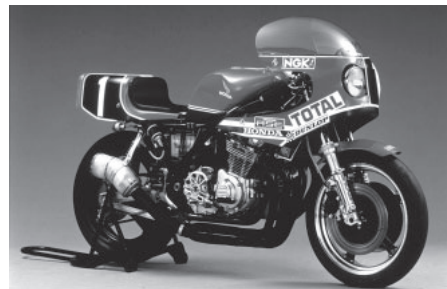
6

7月29日(日)決勝当日に開催!! 鈴鹿8耐 第30回記念大会 “歴代8耐マシンデモンストレーション走行”

鈴鹿8耐を駆け抜けた珠玉の名車たちのデモンストレーション走行を、8耐決勝当日に開催予定。そのエキゾーストノートや、走る姿に触れて、8耐の30年の歴史を感じてみてはいかがだろうか。

■デモンストレーション走行車両(予定)

写真提供: Honda Collection Hall



1981年 優勝マシン / Honda RS1000
#1 (M.ボールドウィン・D.アルダナ組/Honda France)

CB900をベースにした、RCBの流れを汲むワークスマシン。M.ボールドウィンはこの年の優勝も含め、3度の8耐優勝を果たしている。



1991年 優勝マシン / Honda RVF750
#11 (W.ガードナー/M.ドゥーハン組/OKI HONDA RT)

“ミスター8耐”の名を欲しいままにした、W.ガードナーがM.ドゥーハンとペアを組むというドリームチームで、ガードナーが3回目の優勝を遂げたマシン。

※イベント内容は変更される場合があります。



6



2007 QMMF Endurance FIM World Championship Series Round.3
The 30th "Coca-Cola Zero" Suzuka 8hours World Endurance Championship Race
MOBILITYLAND CORP. SUZUKA CIRCUIT
7992 Ino-cho Suzuka-shi, Mie-ken, 510-0295 Japan
Tel 81 59 3781111 Fax 81 59 3784568





RACE TOPICS

7

鈴鹿8耐ショートストーリー 時代を代表する世界のビッグネームが 苦戦した過酷なレース

1978年の第1回大会以来、今年で第30回の記念大会となる「コカ・コーラ ゼロ」鈴鹿8耐。グレアム・クロスビー、ワイン・ガードナー、フレディ・スペンサー、ケビン・シュワーツ、ケニー・ロバーツ、平忠彦、ミック・ドゥーハン、ウェイン・レイニー、エディ・ローソン、バレンティノ・ロッシなど、世界の頂点に名を馳せるビッグスターたちの競演は、古くから8耐を見つめてきたモータースポーツファンの方々には、青春の一ページとして今も記憶に残っていることだろう。

時代を代表するトップライダーたちの出場と同時に、マシンもこれまでに時代の流れの中で変貌を遂げてきた。初開催当初は、フォーミュラプレと呼ばれるマシンによる闘いで、エンジン形式に制限はほとんどなかった。言い換えると、このマシンの規制緩和が、ビッグレースながら参加しやすいという環境を生み出し、その人気に拍車をかけたのである。その後、世界スタンダードに合わせて上限1000ccのTT-F1、さらに時代の流れの中でTT-F1の上限排気量は750ccとなり、そして現在は、TT-F1よりも改造範囲が狭い、上限1000ccのスーパーバイクが主力となっている。

こうした中、日本のモータースポーツの土壌に則した形で、この鈴鹿8耐に限り特例が設けられている。1997年から昨年まで参加が認められていた、鈴鹿生まれのX-Formulaクラス(後のXX-Formulaクラスに進化)の設定など、さまざまなマシンが8耐の歴史に彩りを添えた。また、2003年から、全日本ロードレースの最高峰クラスはJSB1000に移行しているが、このJSBは、ジャパン・スーパーバイクの略称で、スーパーバイクのレギュレーションに酷似しているものの、さらに改造範囲が厳しく制限された、その名の通り日本独自のカテゴリーだ。これにより、鈴鹿8耐に限り、世界耐久選手権で認められているスーパーバイク、スーパープロダクション、スーパーストックの3クラスに加えて、JSB1000が混走するというユニークな規則が採用されている。

1978年優勝を飾ったヨシムラ



2006年3位表彰台を獲得したヨシムラ

RACE TOPICS

8

「岩城滉一」氏が、8耐名誉顧問に就任、 バイクへの熱い情熱で、 8耐を強力にバックアップ!

今年、8耐にスペシャルなゲストが登場する。バイクをそしてモータースポーツをこよなく愛する俳優の岩城滉一氏が「8耐名誉顧問」として強力に8耐をバックアップしてくれることになった。岩城氏は、第21回大会をはじめ、8耐において計3度チーム監督を務めた。また自身でも、過去には4輪の当時の日本最高峰レース「F3000」への参戦、日本最大級の草レース「もて耐」へも出場という豊富なレース経験を持っており、昨年の7月に開催された『「NANKAI」鈴鹿Mini-Moto4時間耐久レース』にも出場し、クラス優勝するなど、モータースポーツへの情熱は今も加速し続けている。

今回、岩城氏は、8耐においてレーシングコースや市内で開催されるイベントに参加し、全国から集まるバイクファンとの交流やモータースポーツの活性化を呼びかける予定だ。

7



2007 QMMF Endurance FIM World Championship Series Round.3
The 30th "Coca-Cola Zero" Suzuka 8hours World Endurance Championship Race
MOBILITYLAND CORP. SUZUKA CIRCUIT
7992 Ino-cho Suzuka-shi, Mie-ken, 510-0295 Japan
Tel 81 59 3781111 Fax 81 59 3784568





Coca-Cola zero 2007
Suzuka 8 hours

Road to 8hours, Check it NOW!

その行方を見届けろ!

SUZUKA 2&4 RACE



4.14-15 2007 MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ第2戦
 鈴鹿2&4レース

“コカ・コーラ ゼロ”鈴鹿8耐へ向け、すべてのチームが始動する。熱く長い闘いは、ここから始まる!

全日本ロードレースの第2戦として開催されるこの大会は、全日本選手権の一戦でありながらも8耐を目指す多くのスポット参戦チームがエントリーしており、4輪フォーミュラニッポンとの併催であることも手伝って、一種独特な雰囲気のあるレースとなっている。8耐に向けてどのチーム、どのライダーが好スタートを切るのか、大いに注目されるレースだ。

“Road to 8hours” SUZUKA 300km

“Road to 8hours” 鈴鹿300km耐久ロードレース



6.9-10

“Road to 8hours”
 鈴鹿300km耐久ロードレース

**真の“コカ・コーラ ゼロ”鈴鹿8耐前哨戦。
 このレースを制する者が8耐を制するのか?**

全日本選手権として開催されていた「鈴鹿200km」時代から「8耐前哨戦」といえば、このレース。300kmに距離が延長されてからは、ライダーも2名登録可能となり、ルマン式スタートが採用されたこともあってより一層、8耐に向けての実戦テストという色合いが増した。

また、8耐の暫定エントリーリストが発表されるのもこの大会であり、決勝日には主要チームの8耐参戦記者発表会が、一般公開で行われることにも注目が集まる、8耐ファン注目の一戦だ。

鈴鹿8耐公開テストデー



7.2-3

鈴鹿8耐
 公開テスト

**レース目前、本番さながらのテストで
 “コカ・コーラ ゼロ”鈴鹿8耐本戦を占う**

8耐を目前に控えた7月初旬、8耐参加チームが一堂に勢揃いする注目の公開テストが開催される。夜間走行も行われ、各チームは8耐に向けての最終調整に余念がない。各チームの陣容もほぼ固まり、そのテストの様子は実戦さながらだ。このテスト時に正式エントリーリストが発表されることもあり、またこうしたテストが一般公開で行われることは非常に珍しいので、ぜひ鈴鹿に足を運んでほしい。

8tai.com

**今年も8耐には専用ウェブサイトが用意される!
 注目の情報が続々更新! 8耐ファンなら見逃すな!**

今年も“コカ・コーラ ゼロ”鈴鹿8耐には、専用のウェブサイト「8tai.com」が用意される。8耐のエントリー情報や、バイク/バイク用品メーカー・ショップの屋外モーターショーとして目が離せない「MOTO MAX」などのイベント情報はもちろん、8耐に参加する各ライダーのナマの声や読み応えのあるインタビュー記事など、観戦にお得な耳寄り情報まで、8耐を見に行くならこのサイトのチェックは欠かせない。すべての鈴鹿8耐情報は、ここに集まる!

7.26-29
**この長い道の先に待つ結末は、いかに。
 サーキットで、その目で見届けよう**



8



2007 QMMF Endurance FIM World Championship Series Round.3
 The 30th "Coca-Cola Zero" Suzuka 8hours World Endurance Championship Race
 MOBILITYLAND CORP. SUZUKA CIRCUIT
 7992 Ino-cho Suzuka-shi, Mie-ken, 510-0295 Japan
 Tel 81 59 3781111 Fax 81 59 3784568



OFFICIAL SPONSOR



COLLABORATION TOPICS

1

“コカ・コーラ ゼロ”鈴鹿8耐に強力助っ人が登場! テレビ朝日、メ〜テレがイベントやプロモーションに協力表明!

今年の“コカ・コーラ ゼロ”鈴鹿8耐ではテレビ朝日とメ〜テレ(名古屋テレビ)が強力なプロモーションで支援をしてくれることになった!

鈴鹿サーキットがテレビ朝日、メ〜テレと8耐でコラボするのは初の試みとなる。今年は、鈴鹿8耐30年来のオールドファンや、鈴鹿8耐を全く知らない皆さんにも、鈴鹿8耐の魅力を知ってもらおうと、両社が持つ様々な媒体で、8耐情報を発信していただくことになる。また、大会直前には、六本木ヒルズのテレビ朝日本社に隣接するギャラリーUMU(ウム)などで、8耐特別展示やトークショーなども計画されており、盛り上がること必至。今後はさらに、テレビ局ならではのイベント開催ノウハウを駆使し、鈴鹿8耐会場でのイベント展開にもご協力をいただく予定。

tv asahi

メ〜テレ

“コカ・コーラ ゼロ”鈴鹿8時間耐久ロードレースの中継・ダイジェストなどの放送については、日時・放送局など未定です。決定次第、後日あらためてご案内いたします。

COLLABORATION TOPICS

2

全国のラジオ局が地元チーム・選手を 応援する特別プログラムが今年もまた 実施されることに!

ラジオ局のチーム応援シートで盛り上がる!

“コカ・コーラ ゼロ”鈴鹿8耐に、系列を超えた全国のラジオ局がサポートタッグを組む参戦チームを応援するために、各局の人気パーソナリティが鈴鹿8耐での応援観戦を呼びかける企画が昨年行われ、レース当日のチーム応援シートでは各局対抗の応援合戦となり盛り上がりを見せた。

ここ数年はラジオ局とチームが様々な形でコラボレーションする例は増え続けており、そして今年も全国のラジオ局で8耐応援企画が展開される予定だ。チームのゼッケンナンバーがサポートするラジオ局の周波数を採用したチームや、ラジオ局のステッカーを貼るチームなど…。いつも聞いている地元ラジオ局の人気パーソナリティ(DJ)がリスナーでもあるファンと一緒にサポートするのはもちろん、地元のチーム・ライダーたち!各地から参戦するチームを応援するこの密着型企画は地元意識もあってか気合の入りが違うのだ。ぜひあなたも地元ラジオ局を聞いてチーム応援シートでパーソナリティとリスナーのみならず一緒に盛り上がってはいかが?!

※参加ラジオ局と応援チームの情報は、8tai.comで紹介する予定です。

※ラジオ局のチーム応援シートは、一部のラジオ局での実施となります。

COLLABORATION TOPICS

3

2006年の鈴鹿8耐を戦ったマシン16種類が、 1/32スケールのミニチュアモデルで登場。

ラジオコントロールモデルやダイキャスト模型でおなじみの京商では1/32スケールで精巧にディテール再現されたダイキャストモデル「2006鈴鹿8時間耐久ロードレースマシンシリーズ(16種類)」を、7月下旬より「サークルK」「サンクス」と鈴鹿サーキットにおいて数量限定で発売開始。

◆鈴鹿サーキットでは16台セット・鈴鹿8耐限定特典付で販売いたします。

・発売日:7月下旬

・発売場所:鈴鹿サーキット内「セレクト“2”」「サーキットガレージ」他

※その他商品概要等、詳しくは別紙資料をご参照ください。

COLLABORATION TOPICS

4

“コカ・コーラ ゼロ”鈴鹿8耐の プロモーション展開やチケット販売企画に 『ローソン』がコラボレート。

今年、鈴鹿サーキットやツインリンクもてぎで開催される様々なレース・イベントで、株式会社ローソンとのコラボレーション企画が続々誕生。4月19日~21日ツインリンクもてぎで開催される「2007 BRIDGESTONE INDY™ JAPAN 300 mile」での「ファミリーでアメリカンレース体験!」と題されたローソン会員向け懸賞企画からスタートし、グッズプレゼントや各種企画チケット販売なども進行中。

“コカ・コーラ ゼロ鈴鹿8耐”でも、特別なステイプランがローソン会員向け懸賞として準備される。その中身は、レース観戦はもちろん、ゆうえんちやプールそして花火と、ファミリーで夏休みの鈴鹿を存分に楽しめる内容。また今回、スペシャル企画として、決勝レース前の大会記念式典への参加権プレゼントが予定されている。さらに、ローソンチケット限定の前売観戦券企画も進行中。詳細は決定次第 8tai.comで紹介される。

【ローソン会員向け懸賞について】

毎日のお買い物でポイントが貯まるローソンの会員カード「ローソンプス」、「マイローソンプス」いずれかのポイントでご応募いただけます。ポイントは、ローソンでのお買い物100円=1ポイント、レジ精算ごとに1ポイントが貯まります。懸賞へのご応募は、ローソン店内のマルチメディア端末<Loppi(ロッピー)>、またはパソコン、携帯電話にて行っていただけます。

【“コカ・コーラ ゼロ”鈴鹿8耐/夏休みファミリーバック 懸賞内容について】

◆当選人数:2家族8名様(1家族あたり大人2名様+子供2名様とさせていただきます)

◆募集期間:5/1~6/30

◆必要ポイント:60ポイント

・レース観戦(エリア指定席入場可)

・パドック見学付き

・ゆうえんちバスポート(1日分)

・プール入場(1日分)

・ホテル宿泊(7/28の一泊)

・スペシャル企画:大会記念式典に参加

9



2007 QMMF Endurance FIM World Championship Series Round.3
The 30th "Coca-Cola Zero" Suzuka 8hours World Endurance Championship Race
MOBILITYLAND CORP. SUZUKA CIRCUIT
7992 Ino-cho Suzuka-shi, Mie-ken, 510-0295 Japan
Tel 81 59 3781111 Fax 81 59 3784568



OFFICIAL SPONSOR